

2. 整備事業

I 産地競争力の強化に向けた取組用

(栃木県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①							成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				現状値の基準年度(平成22年)	1年後(平成24年)	2年後(平成25年)	3年後(平成26年)	4年後(平成27年)	5年後(平成28年)	目標値(平成28年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費					その他
佐野市	佐野市有害鳥獣被害対策協議会	鳥獣被害防止施設(水稲、野菜イノシシ)	農作物被害の減少	5,534千円	10,991千円	7,076千円	14,114千円	10,394千円	9,912千円	5,080千円	-96.4%	有害捕獲の実績から佐野市における生息個体数はイノシシが微増傾向、シカは増加傾向と推測される。平成28年度において目標達成には至らなかったが、事業完了後一時的に増加した被害金額が、平成26年度より徐々に減少してきている。	鳥獣被害防止施設ワイヤーメッシュ柵イノシシ用3,570m イノシシ・ニホンジカ用8,490m	6,034,833	5,000,000	0	0	1,034,833	H25.3.5	本事業で侵入防止柵を導入したことにより、イノシシ等の侵入防止柵内への侵入が軽減されている。また対象地域では侵入防止柵を維持管理するために定期的な見回りや草刈りを行うことで、獣害対策の意識向上が図られる等、一定の効果が認められた。	捕獲体制の強化、侵入防止柵整備等、地域住民が参加した被害防止対策に積極的に取り組んでいるが、野生鳥獣の生息拡大により被害増加を防ぐことができなかった。	平成23年度明許繰越
塩谷町	塩谷町野生鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設(野菜・豆類・シカ・イノシシ)	シカ・イノシシによる農作物被害の防止	2,983千円	17,546千円	4,638千円	8,428千円	31,328千円	22,441千円	2,744千円	-8,141%	震災以降、急激にシカ・イノシシの生息域が拡大しており、平成27年に31,328千円まで増加した鳥獣による農作物被害は平成28年度は22,441千円となり前年より約3割減少している。	鳥獣被害防止施設(シカ、イノシシ用金属フェンス)の設置3,940m	9,062,000	9,062,000	0	0	0	H25.3.25	イノシシ・シカの生息域が震災後に町内全域に拡大している。集落ぐるみの侵入防止柵設置と鳥獣被害対策実施隊による捕獲強化や緩衝帯の整備を継続的に実施することで、被害の軽減を図る取組を行っており、被害額を3割減少させることができた。	協議会を中心に住民参加型の被害防止対策を進めている。しかし、野生鳥獣の生息域拡大により、対策が未実施の地域で被害が増加し目標は未達成となっている。	平成24年度第1補正繰越

都道府県平均達成率	-4552%	総合所見	侵入防止柵を整備した地区では対策の結果が現れているが、未整備地区での被害増加がそれを上回っている状況である。侵入防止柵の整備だけでなく、捕獲対策や生息環境整備を組み合わせた総合的な対策に取り組むと共に、防除対策が成功した取り組みを他地域へ普及させていく。また、全県的にイノシシ・シカの生息域が拡大傾向にあることから、引き続き、鳥獣管理士等の指導やアドバイスのもと研修会や集落点検を実施するなど、獣害に強い体制づくりの推進を強化することで被害の減少を図っていく。
-----------	--------	------	--